獣医療人として必要な基本姿勢・態度
各科共通

分類	内容	チェック日	指導医備考欄
飼い主-獣医師関係	飼い主のニーズを把握できる。		
	獣医師、飼い主がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。		
	守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。		
チーム医療	指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。		
	他の獣医師および獣医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。		
	同僚及び後輩へ教育的配慮ができる。		
	紹介医と適切なコミュニケーションがとれる。		
問題対応能力	臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該動物への適応を判断できる。		
	自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。		
	臨床研究や治験の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。		
	自己管理能力を身に付け、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める。		
安全管理	獣医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。		
	事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる。		
	院内感染対策を理解し、実施できる。		
症例呈示	症例呈示と討論ができる。		
	臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。		

経験すべき診察法・検査・手技
各科共通

分類	内容	チェック日	指導医備考欄
獣医療面接	医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身に付け、飼い主の病気に対する考えを把握できる。		
	動物の病歴（主訴、現病歴、既往歴、予防歴）の聴取と記録ができる。		
	飼い主への適切な指示、指導ができる。		
身体検査	全身の観察（体重・体温・心拍数・呼吸数の測定、皮膚や体表リンパ節の診察を含む。）ができ、記載できる。		
	頭頸部の診察ができ、記載できる。		
	胸部の診察ができ、記載できる。		
	腹部の診察ができ、記載できる。		
	泌尿・生殖器の診察ができ、記載できる。		
	骨・関節・筋肉系の診察ができ、記載できる。		
	神経学的検査ができ、記載できる。		

基本的 臨床検査	一般尿検査		
	便検査		
	CBC・白血球分画		
	血液型判定・交差適合試験		
	心電図		
	血液ガス分析		
	血液生化学的検査		
	細菌学的検査・薬剤感受性検査		
	細胞診・病理組織検査		
	内視鏡検査		
	超音波検査		
	単純 X 線検査		
	造影 X 線検査		
	CT 検査		
	MRI 検査		
基本的手技	注射法（皮下、筋肉、静脈、点滴、静脈確保）を実施できる。		
	採血法（静脈血、動脈血）を実施できる。		
	穿刺法（胸腔、腹腔）を実施できる。		
	導尿法を実施できる。		
	包帯法を実施できる。		
	創部消毒とガーゼ交換を実施できる。		
	ドレーン・チューブ類の管理ができる。		
	簡単な切開・排膿を実施できる。		
	軽度の外傷の処置を実施できる。		
	局所麻酔法を実施できる。		
	皮膚縫合法を実施できる。		
	気管挿管を実施できる。		
	救命処置を実施できる。		
基本的治療法	薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療ができる。		
	基本的な輸液ができる。		
	輸血による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる。		
医療記録	診療録を記載し管理できる。		
	紹介獣医師への報告書を作成でき、それを管理できる。		

経験すべき疾患
内科

疾患名	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
血液疾患（貧血など）				
皮膚疾患（皮膚炎など）				
心疾患（僧帽弁閉鎖不全など）				
呼吸器疾患（気管虚脱、慢性気管支炎など）				
消化器疾患（慢性腸炎など）				
肝・膵臓疾患（胆嚢疾患など）				
泌尿器疾患（慢性腎疾患、尿路結石など）				
内分泌代謝性疾患（副腎皮質機能亢進症など）				

経験すべき疾患
外科

疾患名	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
腹部疾患①（胃・腸内異物など）				
腹部疾患②（胆嚢粘液嚢胞など）				
泌尿器疾患①（膀胱結石など）				
泌尿器疾患②（猫の尿閉など）				
ヘルニア（会陰ヘルニアなど）				
運動器疾患①（前十字靭帯断裂など）				
運動器疾患②（膝蓋骨脱臼など）				
運動器疾患③（レッグペルテスなど）				
運動器疾患④（骨折など）				
口腔内疾患①（歯周病～歯石除去など）				
口腔内疾患②（歯周病～抜歯など）				
口腔内疾患③（口腔内腫瘍など）				

経験すべき疾患
神経科

疾患名	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
ニューロパチー				
重症筋無力症				
末梢神経腫瘍				
胸腰部椎間板ヘルニア				
頸部椎間板ヘルニア				
変性性脊髄症				
椎体奇形				
脊髄梗塞				
脊椎腫瘍				
脊髄腫瘍				
特発性脳脊髄炎（MUO）				
感染性脳脊髄炎（ジステンパー、FIP、細菌）				
内耳炎				
特発性前庭障害				
てんかん				
脳腫瘍				
脳梗塞				
水頭症				

経験すべき疾患
麻酔科

疾患名	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
呼吸器疾患の麻酔				
循環器疾患の麻酔				
腎疾患の麻酔				
肝疾患の麻酔				
中枢神経疾患の麻酔				
内分泌疾患の麻酔				
血液疾患の麻酔				

経験すべき疾患
腫瘍科

疾患名	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
肥満細胞腫（Kiupel Low-grade）				
肥満細胞腫（Kiupel High-grade）				
リンパ腫（犬、多中心性）				
リンパ腫（犬、多中心性以外）				
リンパ腫（猫、消化器型）				
リンパ腫（猫、鼻腔内）				
リンパ腫（猫、その他）				
口腔内メラノーマ				
口腔内扁平上皮癌（犬）				
口腔内扁平上皮癌（猫）				
軟部組織肉腫				
移行上皮癌				
鼻腔内腫瘍				
骨肉腫				
血管肉腫				
下垂体腫瘍				
甲状腺癌				
肛門嚢腺癌				
肝細胞癌				
胸腺腫				
直腸腺癌				

経験すべき症状
内科

症状	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
食欲不振				
体重減少				
発熱				
黄疸				
嘔吐				
下痢				
発咳				
血尿				
脱毛				
掻痒				
多飲多尿				

経験すべき症状
外科

症状	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
食欲不振（犬）				
食欲不振（猫）				
嘔吐				
血尿				
黄疸				
多飲多尿				
跛行（前肢）				
跛行（後肢）				
体表腫瘤				
体表膿瘍				
口臭				
くしゃみ				
鼻水				

経験すべき症状
神経科

症状	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
背部痛、頚部痛				
後肢不全麻痺、麻痺				
四肢不全麻痺、麻痺				
単不全麻痺、麻痺				
片不全麻痺、麻痺				
運動失調				
意識レベルの低下				
捻転斜頸				
旋回				
眼振				
振戦				
全般発作				
部分発作				

経験すべき症状
麻酔科

症状	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
肥満				
短頭種症候群				
高齢				
攻撃性				
覚醒時興奮				
低体温				
高体温				
低血圧				
高血圧				
低換気				
過換気				
低酸素				

経験すべき症状
腫瘍科

症状	診察日	診察日	診察日	指導医備考欄
体表腫瘤				
腹腔内腫瘤				
鼻腔内腫瘤				
膀胱内腫瘤				
胸腔内腫瘤(肺)				
胸腔内腫瘤(肺以外)				
貧血				
血液凝固異常（DIC 含む)				
発熱				
がん性疼痛				
悪液質				
高カルシウム血症				
低血糖				
抗癌剤による骨髄抑制				
抗癌剤による消化器症状				

経験すべき診療技術
内科

技術項目	実施日	実施日	実施日	実施日	実施日	指導医備考欄*
皮膚検査						
皮膚生検						
骨髄生検						
内分泌学的試験（ACTH 刺激試験など）						

* 容易な症例であれば一人で行うことができると判断された時点で、指導医備考欄にチェックを入れる。

経験すべき診療技術
外科

技術項目	実施日	実施日	実施日	実施日	実施日	指導医備考欄*
胃切開術						
膀胱切開術						
卵巣子宮全摘出術						
会陰尿道瘻設置術						
会陰ヘルニアの整復①（総鞘膜）						
会陰ヘルニアの整復②（浅殿筋）						
胆嚢摘出術						
腸切開と腸吻合術						
骨折整復術①（長骨）						
骨折整復術②（その他、顎骨など）						
抜歯術①（歯周病）						
抜歯術②（破折歯）						
抜歯術③（猫の口内炎）						
口腔内腫瘍摘出術						
大腿骨頭切除術						
前十字靭帯整復術						
膝蓋骨脱臼整復術						
唾液腺切除術と唾液瘤切除術						
歯原性嚢胞摘出術						

* 容易な症例であれば一人で行うことができると判断された時点で、指導医備考欄にチェックを入れる。

経験すべき診療技術
神経科

技術項目	実施日	実施日	実施日	実施日	実施日	指導医備考欄*
視診（神経疾患、整形外科疾患との鑑別）のトレーニングをおこなう						
神経学的検査（病変の局在、鑑別疾患リストの作成）について習得する						
MRI の撮像法を理解する						
電気生理学的検査についての基礎を学ぶ						
片側椎弓切除、ベントラルスロットのアプローチ法を習得する						

* 容易な症例であれば一人で行うことができると判断された時点で、指導医備考欄にチェックを入れる。

経験すべき診療技術
麻酔科

技術項目	実施日	実施日	実施日	実施日	実施日	指導医備考欄*
麻酔計画の実施						
麻酔前検査の実施						
薬用量の計算						
静脈・筋肉内投与						
皮下投与の実施						
麻酔導入の実施						
麻酔維持管理の実施						
麻酔覚醒の実施						
動脈血採血の実施						
動脈留置の実施						
膀胱カテーテル留置の実施						
神経ブロックの実施または助手						
術後管理の実施						
ICU 管理の実施						
心肺蘇生の実施						
麻酔科カルテの記載						

* 容易な症例であれば一人で行うことができると判断された時点で、指導医備考欄にチェックを入れる。

経験すべき診療技術
腫瘍科

技術項目	実施日	実施日	実施日	実施日	実施日	指導医備考欄*
FNA						
コア生検						
超音波ガイド下生検						
鼻腔内ストロー生検						
膀胱腫瘍生検						
内視鏡生検						
腫瘍性疾患に対する CT 撮影						
CT ガイド下生検						
骨髄生検						
閉鎖式投与デバイスの使用						
抗癌剤投与（静脈内点滴）						
PEG チューブ装着						

* 容易な症例であれば一人で行うことができると判断された時点で、指導医備考欄にチェックを入れる。